

## 平成30年11月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年11月分について、輸出は「通信機」、「電気回路等の機器」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「電気計測機器」、「金属製品」などが増加したことから対前年同月比10.4%の増加となった。また、輸入は「航空機類」、「有機化合物」などが減少したものの、「事務用機器」、「絶縁電線及び絶縁ケーブル」、「原動機」などが増加したことから、同3.6%の増加となった。  
その結果、差引額は34億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	930億円	+10.4%	897億円	+3.6%	34億円	—
	19ヵ月連続の増加		3ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	100億円	+105.0%	輸入	増加品目	(1) 事務用機器	40億円	+103.9%
		(2) 電気計測機器	85億円	+18.7%			(2) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	25億円	+154.5%
		(3) 金属製品	35億円	+54.9%			(3) 原動機	77億円	+18.4%
	減少品目	(1) 通信機	2億円	▲87.3%		減少品目	(1) 航空機類	46億円	▲43.8%
		(2) 電気回路等の機器	45億円	▲21.7%			(2) 有機化合物	65億円	▲17.9%
		(3) 科学光学機器	37億円	▲17.8%			(3) 半導体等電子部品	72億円	▲11.8%
主要地域増減	EUが増加、アジア、アメリカは減少			主要地域増減	アメリカが増加、EU、アジアは減少				

(参考) ドルレートは、112.99円（前年 113.54円）0.5%の円高ドル安であった。

(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。